

経営者の  
本音が分かる  
レポート

一点突破思考術コンサルタントの船曳です。

今回経営者の方50名にアンケートへのご協力をいただき、とても興味深い結果が明らかになりました。

皆様にはご協力いただき、本当にありがとうございました。

今回ご協力いただいたその結果をレポート形式でまとめましたので、お届けいたします。

あなたの自己理解が進んだり、周りの経営者はどんなことを考えているのかを知り、あなたの本当の成功に近づくことに役立てば幸いです。

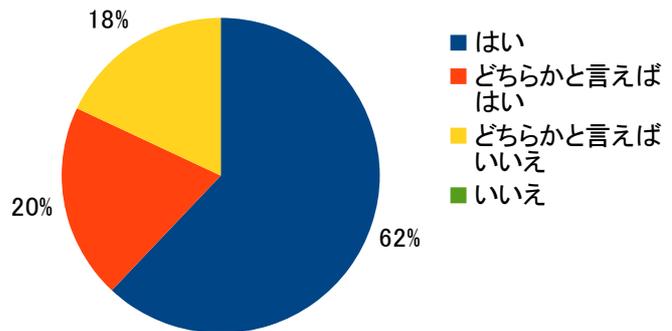
## 【結果と分析】

### 1. 経営者は孤独か？

(経営者である)自分がそうであるかは別として、あくまで一般論としての「経営者」に対するイメージとして「孤独と思うか？」を聞いてみました。

結果、約8割もの方が「経営者は孤独を感じながら経営をしているだろうと思っていること」が明らかになりました。

経営者は孤独と思うか？



### 2. 自分は経営者として、孤独を感じたことがあるか？

これは50名全員(100%)の方が「経営者として、孤独を感じたことがある(感じる)」と回答されました。

今回ご回答いただいた経営者の方全員が「経営に関する孤独」を感じて居られることが分かります。

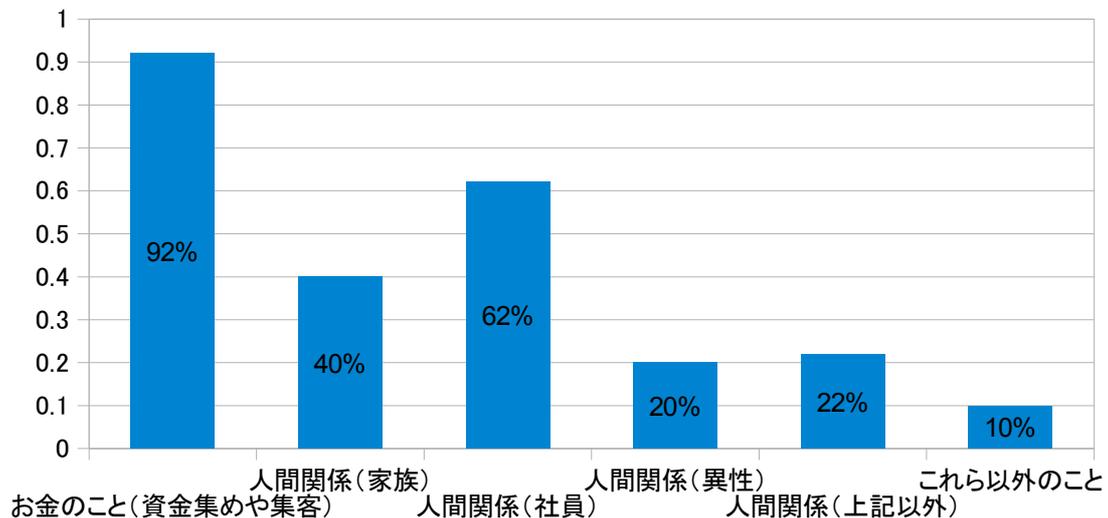
そしてさらに興味深いことですが、1の結果とも合わせて考えると、「みんな自分と同じように孤独を感じているであろう」と思っている方が居られる一方で、「周りの経営者はうまく行っており、自分だけが悩み、そして孤独を感じている」と考えている方も居られるということが明らかになりました。

このことから会社という組織の中で、自分だけがみんなの人生を背負っている重圧という孤独を感じているばかりか、同じ立場である経営者同士の間でも「周りにはうまく行っているのに自分だけが悩みを抱えている。孤独だ・・・」と感じて居られる方が居るということが言えます。

### 3. どんな時に悩みを感じますか？(複数回答可)

では具体的に経営者の方の抱える悩みについてお聞きしたところこのような結果が出て来ました。

#### どんな時に悩みを感じたり、孤独を感じるか



まずやはり一番は経営そのもの、資金集めや集客のこと(92%)、そして次に対社員との人間関係(62%)で悩みを抱えて居られることが分かります。

実際私が相談を受ける(SV)中で多いのも、したいことをビジネスモデルとして構築するお手伝いであったり、集客のこと、社内の人間関係での悩みが中心です。

この他にも異性関係の悩みをお持ちの方が5人に1人と、少なからず居られることも興味深いですね。確かに一般的に経営者のうまく行っている恋愛話は非常にじっくり来るんですが、逆に経営者の方が片思いなどうまく行かない恋愛は「色々な意味で公言しにくい」ためか、そういった恋愛話はしゃべる場所がないということが、その背景には考えられます。でも人間である限り、異性との良好、あるいは自分の望む形での関係は欲の一つとして、人生を成功させるに必要なファクター(要因)だと私は考えています。

異性だけに限りませんが、人間関係の部分で未整理のことが多いと、経営にも悪影響をおよぼす可能性がある、いや高いということは言えると思います。ご自身の経験を振り返ってみて、いかがでしょうか？

例えばですが、何かしらうまく行かない→イライラする→(立場を利用して)部下や下請け業者に八つ当たりをする→八つ当たりをされた相手が国税局など外部組織へ監査を依頼したり(監査を受けるだけでエネルギーを消耗することはお分かりのことと思います)、ネットで社内の知られたくないことを暴露されるということはよく聴くことです。

部下との関係に置き換えても、上手く関係を持つことが出来ないがために、せつかく育てて来たのに関係を一瞬でこじれさせてしまい辞められてしまう、あるいは上記のような本来ならしなくともいいようなエネルギーを消費させられてしまうということはあなたの身近にもあるかもしれません。特に部下の育成方法、任せるところと、判断を自分に仰いで欲しいところの線引はとても難しいところ

があるのかもしれませんがね。当然経営者のあなたの判断として、この仕事はあいつには任せられるが、あいつには任せられないという、「相手を見ての判断」というのもあると思います。

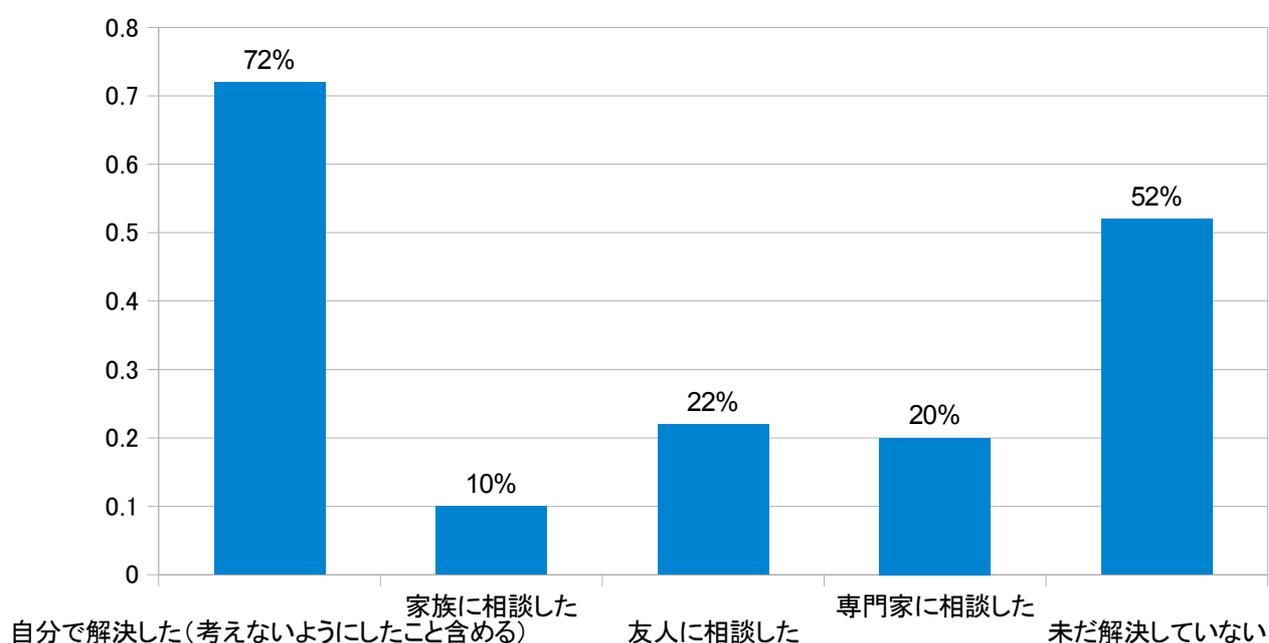
これらのことから、この後にも登場しますが、一般的に「解決を目的とした、資金集めや集客などの経営そのもの、社内や異性などの人間関係を話し、解決する場は少ない」と言えます。

#### 4. 悩みや困っていることをどのようにして解決したか(複数可)

次に悩みをどうやって解決したかについてお聴きしました。

そうしたところ、以下のような結果が明らかになりました。

##### どのようにして解決しましたか？



72%もの経営者の方が「自分で解決する(考えないようにしたこと含める)」方法を選択されています。このことは、悩みに対して最終的に自分で解決するしかないと思っておられる方が多いことを示しています。

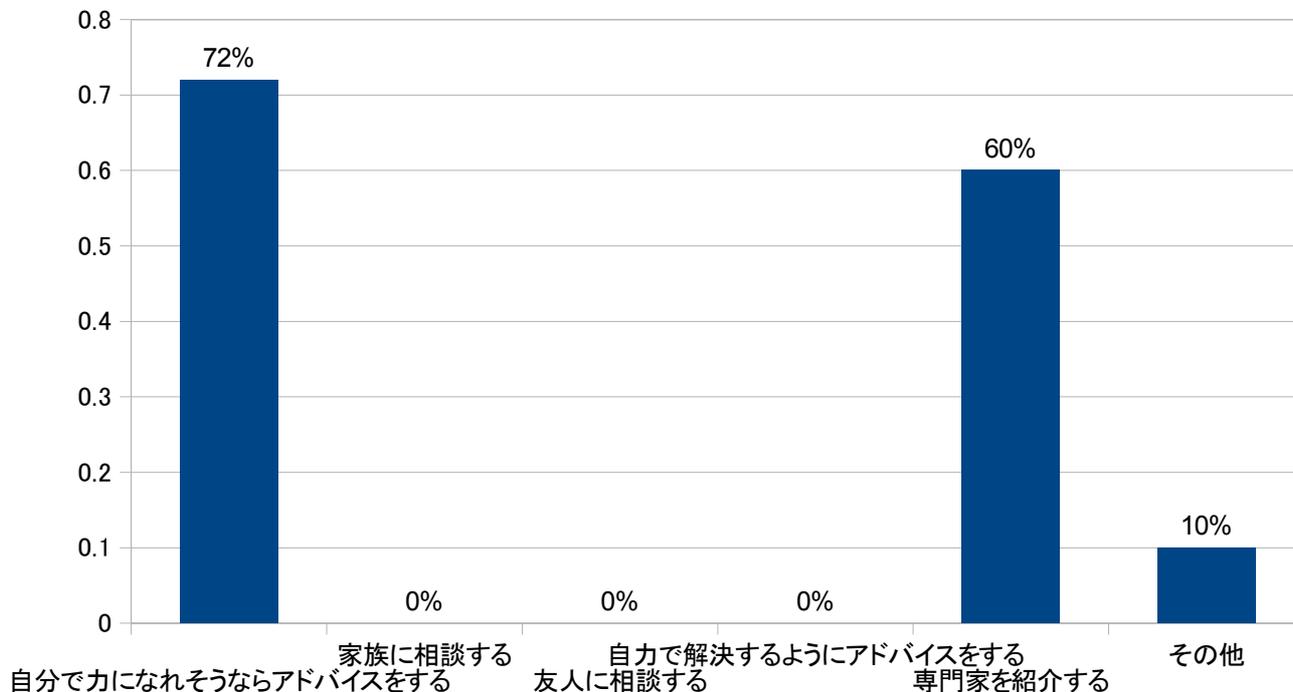
一方で「未だ解決していない」とご回答の方も52%とかなり居られます。約半数の方が問題が解決していないと認識しているようです。上記の「考えないようにした」との回答と合わせると(今回は数字は出ていませんが)、かなりの割合の方が悩みや困ったことは未解決のままであると分析することができます。

そして放ったらかしにしておくことで、デメリットがある可能性については上記した通り、自分の経営の妨げになるということです。

## 5. アドバイスを求められたらどう返すか(複数回答可)

同様に自分が相談を受けた立場ならどう返すかについてもお聴きしました。

### アドバイスを求められたらどうするか？



2つ読み取れることがあります。最初のポイントが、自分で力になれそうならアドバイスをするとお答えいただいた方が72%と多いということ、続いて専門家を紹介するとご回答いただいた方が60%と次点で多いということです。これらのことは、自分を頼ってくれたのだから、まずは自分で何とかしてあげたいと思う方が多いこと、そしてそれがかなわないなら、専門家を紹介される方が60%ということを表しています。この60%という数値を高いと見るか低いと見るかは、あなたの経営者としての感覚によって変わってくると思います。

また自分で力になれそうならアドバイスをする背景には、質問項目4の「困った時には自分で解決しようとする」方が多いこともその理由の一つにあるのかもしれませんが。

そしてもう一つのこの結果から読み取れる大事なことが、**家族や友人、自力で解決するよう返した人が0%**ということです。つまり、同じ経営者から相談を受けた場合、関係性が近い方に相談するようには絶対返さないということです。

4と5との結果と合わせて考えると、自分は迷った際に家族や友人に相談する方も一部居られる一方で、冷静に相談される立場になったら、簡単には家族や友人に相談するようには返さないということです。大変興味深いのですが、自分が客観的な立場(相談を受ける立場)であれば、身近な人に相談するようには返さず、自分が主体となった立場になると、身近な人に相談してしまうことがあると言うことです。このことは「冷静になると違う方法を選ぶ方が居る」ということを表しています。

例えば自分の身に置き換えて考えてみましょう。家族に相談したとしましょう。その場合ニュートラルな立場で話を聴いてもらうことは難しいと簡単に想像出来ますし、悩んでいること自体がパートナーの不安をかきたてることにもなりかねません。

また、友人に相談したとしましょう。自分のことを知っている分だけ、その友人の価値観を交えて回答をしてくれることが容易に想像出来ます。そしてその答えは往々にして自分が望んでいるものではないことが多いのではないのでしょうか？実は私も親友に起業のことや、起業してから、あるいはそれ以前の人間関係の悩みを口にしたことがあるのですが、結局口を言う以上の効果は全くなく、それ以降は相談することはなくなりました。

こういったことがおそらくご本人も気づかない無意識の背景にあるため、相談を受ける冷静な立場だと身近な人には相談するようには返さないのに、しかし聞いてもらいたいから、一部の人は身近な家族や友人には話して居られます。しかし多くの経営者から話を聞かせていただいた中では、身近な人間に相談をすることで、実際自分の事業の後押しになる話しをしてもらえているかということについては非常に疑問が残るようです。

また紹介する専門家として

- ・経営コンサルタント
  - ・税理士
  - ・社労士
  - ・弁護士
- などが上がりました。

人物として信頼出来る、結果を出している、が紹介をする際のポイントとなるようです。

## 【まとめ】

- 今回の結果は経営者の本音のほんの入口になりますが、
- 悩みを抱えている人は 100%
  - 自分は悩みを抱えて居ても、自分の周りの経営者は悩みはないと考えている人も一部居る
  - 悩みは自力で解決するものだと思っている
  - いまだ問題が解決していなかったり、考えないようにする対処法を取っている方の割合は多い
  - アドバイスを求められた時、自分が力になれるそうなら相談にのるが、専門家を紹介すると答えた方も多し。ただし具体的な紹介先を知っているかどうかは今回の回答からは不明。
  - アドバイスを求められた時、身近な人に相談するようには返す人は 0% (100%の人が身近な人に相談するようには返さない)

ということが明らかになりました。

これらのことを一歩進めると、「ほとんどの経営者は悩みを抱えているが、解決していない場合がほとんど。お金のことや法律のことは紹介出来る専門家が居る場合もあるが、それ以外の場合は(自分が解決していないことも含めて)紹介出来る先は限られる」ということが言えそうです。

ここからは仮設ですが、このような結果になった理由に、文化的な背景もあるのだと思います。

つまりこれだけ価値の細分化が進み、色んな価値観を知るようになってきても、日本人は「知られると恥ずかしい」ということが無意識レベルで刷り込まれている国民なのではないのでしょうか。知

られることで、中傷を受ける可能性もあるのですが、同時にもしかしたら解決の糸口が得られる場合もあるかもしれません。もしくは適切な場所に相談することで、自分とは全く異なった視点で見つかる可能性があるかもしれません。

「不用意に知られたくないけど、解決出来るなら解決したい。でもその場合どこに相談したらいいのか分からない」というのが本音だと思います。

また私自身 5000 人を超える方からご相談を聴かせていただく中で感じるのですが、「解決に少しでも近づくような適切な悩み方を知らないがために、それにまつわる行動を継続出来ず、苦しんでいる方は多い」ということです。逆に、「適切な悩み方を知り、自分でも出来るようになれば、あなたの脳力やパフォーマンスは 100% 発揮出来るようになる」ということです。

これら無意識にも関係することを解決するためには以下のことが条件として必要です。

- ①口外しないことが約束される信頼出来る人物である(守秘義務が絶対守られる)
- ②相談相手がある程度の幅広い知識を持っており、相談することで自分だけでは気づけなかった解決へと至る、あるいは近づく可能性が高い(確実性)
- ③モラルに縛られず自由に話せる(自由に話すことで、今まで気づけなかったことに気づける可能性がある)
- ④適切な悩み方を自分でもマスター出来るように教えてくれる。

これらの条件を満たす相手として、外部の専門家を利用いただくのもいいかもしれません。

ただ日本ではようやく知られ始めた概念であるため、あまり馴染みがない方も多いかもしれません。

そういった方は CBT のホームページをご覧ください。自分の無意識とどう向き合うかを説明させてもらっています。もちろん直接船曳へご連絡いただいても大丈夫です。

中年期の悩みをすっきり解決～一点突破思考術のススメ～

<http://cbtskill.com/>

守秘義務順守は当たり前のこと、領収書も「コンサルタント料」でお出しします。

大事なことは「自分の無意識が今の行動や結果に影響を与えているかもしれない」と気づくこと、「無意識をコントロールするのは一人だけでは難しいこと(一人でダイエットが続かないのと一緒ですね)」、「ちゃんと無意識を理解している専門家がサポートについていること」だと思います。

もし今未解決のもやもやがあるのであれば、一度自分と向き合い、適切な悩み方を通して、一つ上のステージに行くためにもその前段階として人生の処方箋を受けて見るのはいかがでしょうか？

一点突破思考術についてもっと知りたい、人生の処方箋を作成して欲しい方はこちらからどうぞ。

<http://cbtskill.com/?p=315>

中年期の悩みをすっきり解決

一点突破思考術のススメ

臨床心理士 メンタルヘルス講師

一点突破思考術コンサルタント 人生の処方箋ドクター

船曳 泰孝

533-0021 大阪市東淀川区下新庄 6-1-24

URL <http://cbtskill.com/>

E-mail [info@cbtskill.com](mailto:info@cbtskill.com)

メルマガ 中年期の悩みをすっきりさせるメール講座(サイドバーから登録可)

<http://cbtskill.com/>